SONY

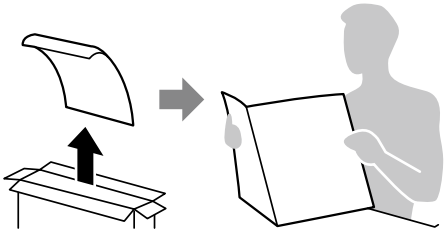
5-048-370-03(1)

液晶モニター

取扱説明書・保証書(裏表紙)

組み立て／設置ガイド

モニターのカートン(箱)上部にあります。



BRAVIA

FW-98BZ53L / 98BZ50L / 85BZ40L / 85BZ30L / 75BZ40L / 75BZ30L / 65BZ40L / 65BZ35L
FW-65BZ30L / 55BZ40L / 55BZ35L / 55BZ30L / 50BZ30L / 43BZ30L

⚠警告 安全のために

→ 22 ～ 27 ページもあわせてお読みください。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

モニターは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

「安全のために」(22 ～ 27 ページ)のご注意をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

定期的に点検する

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。
また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはブラビア法人サポートデスクにご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはブラビア法人サポートデスクに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- モニター内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- モニターを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはブラビア法人サポートデスクに修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止

風呂・シャワー室での使用禁止　接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

重要 -本製品の使用を開始される前に必ず、ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

お客様による本製品の使用開始をもって、お客様がソフトウェア使用許諾契約書の内容にご同意いただけたものとさせていただきます。お客様と弊社との間のソフトウェア使用許諾契約書は、弊社ウェブサイト(https://www.sony.net/tv-software-licenses/)または本製品画面(HOMEボタンを押して、⚙(設定)－[システム]－[デバイス情報]－[法的情報]－[ソフトウェアに関する重要なお知らせ])でご覧いただけます。
ご同意いただけない場合には、直ちに許諾ソフトウェア・本製品の返品・返金の手続きについて弊社にご連絡ください。

目次

ページ番号をクリックすると、該当ページにジャンプすることができます。

準備　組み立て／設置ガイド.....(別紙)

マニュアルについて 4

各部のなまえ

各部のなまえ(モニター本体／接続端子／リモコン).....5

設定

プロモード設定.....10

ネットワークにつなぐ

ネットワークにつなぐ.....13

コントロール機能

RS-232C 15

困ったときは

故障かな？と思ったら.....17
保証書とアフターサービス.....21
ブラビア法人サポートデスクのご案内 21

安全のために／その他

安全のために 22
使用上のご注意／お手入れ 28
再設置／モニターを壁に取り付けて使う....31
転倒防止用ベルトを取り付ける.....32
主な仕様 33

索引.....37

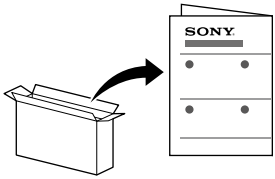
保証書 .....裏表紙

ソフトウェアのアップデートなどにより、画面デザイン、メニュー構成、および仕様は改良のために予告なく変更することがあります。最新情報については、ソニーのサポートサイトをご覧ください。
本機では、使用できない機能や設定項目が画面に表示されることがあります。

マニュアルについて

組み立て／設置ガイド

モニターのカートン（箱）の上部にあります。
モニターの組み立てから、設置・接続して、電源を入れるまでを説明しています。



取扱説明書（本書）

モニターの基本的な使いかたを説明しています。
記載内容については、本書の目次をご覧ください。

ヒント

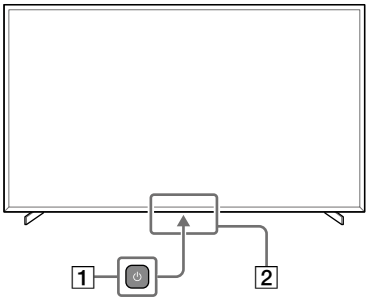
- マニュアル類は、下記のサポートサイトからもご覧いただけます。
  https://www.sony.jp/bravia-biz/support/

この取扱説明書について

本書のFW-98BZ53L/98BZ50Lのイラストは、FW-98BZ50Lを使用して説明しています。
（FW-98BZ53Lにはスタンドは付属していません。）

各部のなまえ（モニター本体／接続端子／リモコン）

モニター本体



モニターの形状は機種やサイズによって異なります。

1 電源ボタン

電源を入れるときに押します。電源を切るときは長押しします。
電源が入っているときは、電源ボタンでモニターを操作できます。電源ボタンを押すたびに操作できる項目が切り換わりますので、画面を見ながら操作してください。

ご注意

- 電源ボタンでは電源を完全に切ることはできません。電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 ランプ（LED）／リモコン受光部／明るさセンサー

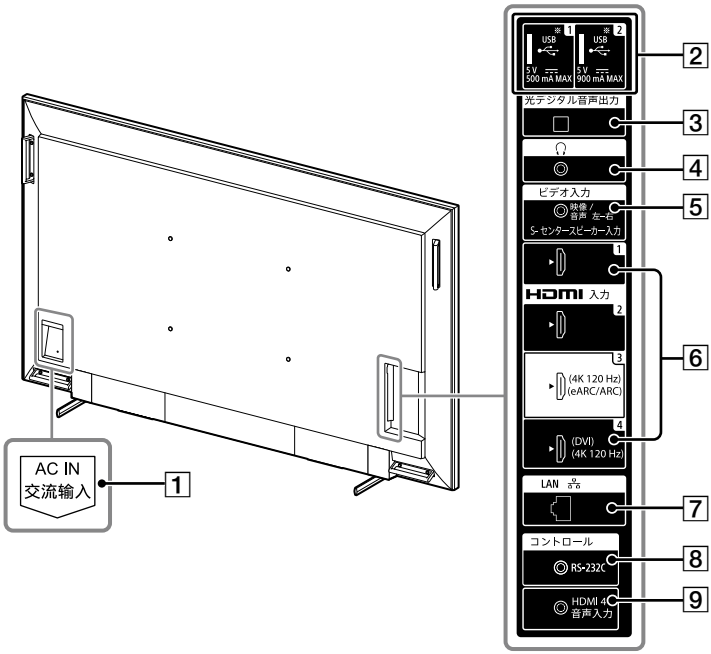
モニターの電源を入れたときや、USBメモリーを使ったソフトウェアアップデート中に白色のランプ（LED）が点灯または点滅します。

ご注意

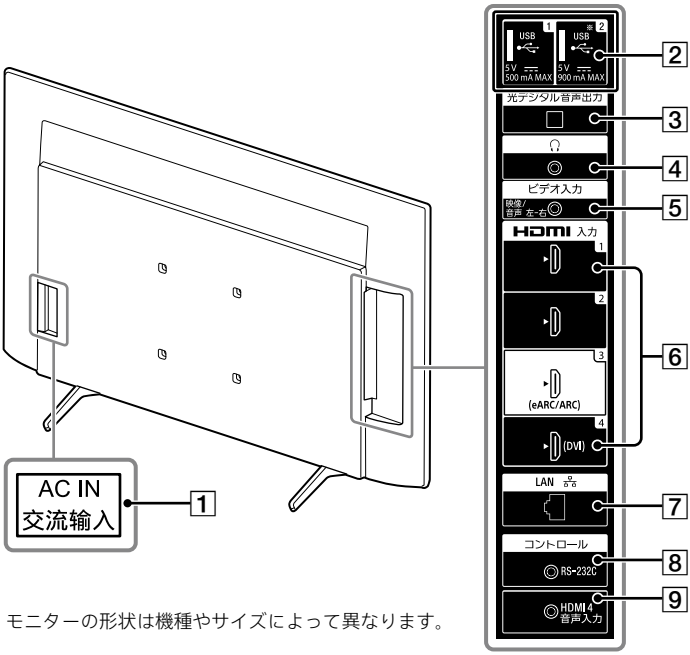
- ランプ（LED）の付近にリモコン受光部や明るさセンサーがあるため、前に物を置かないでください。

接続端子

❑ FW-98BZ53L/98BZ50L



❑ FW-85BZ40L/85BZ30L/75BZ40L/75BZ30L/65BZ40L/65BZ35L/65BZ30L/55BZ40L/55BZ35L/55BZ30L/50BZ30L/43BZ30L



モニターの形状は機種やサイズによって異なります。

1 AC IN（FW-98BZ53L/98BZ50L/50BZ30L/43BZ30Lのみ）

付属の電源コードをつなぎます。

2 USB1、2端子

USB接続機器をつなぎます。

3 光デジタル音声出力端子

別売の光デジタルケーブルでオーディオシステムやホームシアター機器などの光デジタル音声入力端子につなぎます。

4 （ヘッドホン）端子

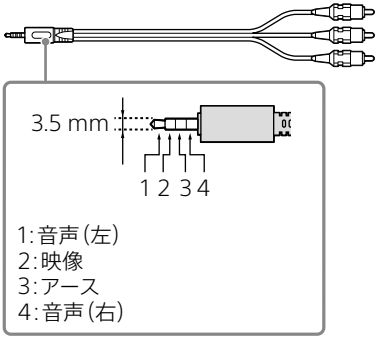
ヘッドホンをつなぎます。

ご注意

- （ヘッドホン）端子にはステレオミニプラグをつないでください。
- ヘッドホンをつなぐと、モニターのスピーカーからは音声が出力されません。

5 ビデオ入力端子（映像／音声）

録画機器やDVDプレーヤーなどの再生機器、およびセットトップボックスなどのビデオ出力端子につなぎます。
ビデオ入力端子につなぐケーブルは、片方が4極ミニプラグの映像・音声ケーブル（別売）を使用してください。



次ページへつづく

S-センタースピーカー入力端子（FW-98BZ53L/98BZ50Lのみ）

モニターのスピーカーをオーディオシステムの一部として使う場合に使用します。詳しくはS-センター出力端子付きオーディオシステムの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ビデオ入力端子とS-センタースピーカー入力端子は共通です。

6 HDMI 1、2、3、4入力端子

BDレコーダー／プレーヤーなどのHDMI端子につなぎます。
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は、デジタル映像／音声入出力インターフェース規格です。HDMI端子のあるAV機器と接続できます。

HDMI 3 eARC/ARC（Enhanced Audio Return Channel/Audio Return Channel）

eARC/ARCに対応したオーディオシステムと接続する場合は、HDMI 3入力端子につないでください。eARC/ARCとは、HDMIケーブルを通して、モニターの音声をモニターのHDMI入力端子からオーディオシステムに送る機能です。オーディオシステムがeARC/ARCに対応していない場合は、光デジタル音声出力との接続も必要です。

ご注意

- eARCで接続する場合は、イーサネット対応のHDMIケーブルを使用してください。

HDMI 3、4入力端子（4K 120p対応）（FW-98BZ53L/98BZ50Lのみ）

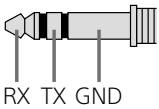
4K 120pの映像出力に対応した機器のHDMI端子につなぎます。
4K 120pの映像を表示するには、モニターの設定変更が必要です。画面に表示される説明に従って［HDMI信号フォーマット］を設定してください。

7 LAN端子

別売のLANケーブルでルーターにつないで、モニターをネットワークに接続します。

8 コントロール端子

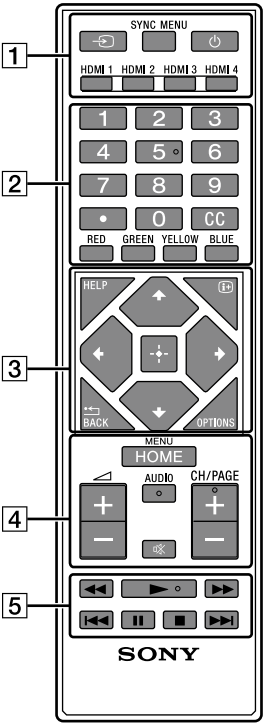
シリアル通信用端子です。
詳しくは、コントロール機能の「RS-232C」（15 ページ）をご覧ください。



9 HDMI 4音声入力端子

HDMI 4入力端子にDVI端子搭載機器をつなぐときは、音声ケーブル（別売）を使って本端子とDVI端子搭載機器のアナログ音声出力端子をつなぎます。

リモコン



1 **（入力切換）**

モニターの入力一覧を表示します。

SYNC MENU（シンクメニュー）

ブラビアリンクの画面を表示します。

（電源）

HDMI 1/2/3/4

2 **数字ボタン**

（ドット）

CC（字幕）

カラーボタン（RED、GREEN、YELLOW、BLUE）

3 **HELP（ヘルプ）**

ヘルプメニューを表示するときに押します。

BACK（戻る）

（画面表示）

入力情報を表示するときに押します。

OPTIONS（オプション）

そのときに利用できる機能の一覧を表示するときに押します。

↑/↓/←/→、-◆-（決定）

↑/↓/←/→ボタンで画面上の項目を選び、-◆-（決定）ボタンで選んだ項目を決定します。

4 **HOME（ホーム）**

（音量）＋／－

AUDIO（音声切換）

副音声に切り換えるときに押します。

（消音）

長押しすると、ユーザー補助機能のショートカットとして使用できます。

CH/PAGE（チャンネル／ページ）＋／－

5 **◀◀/▶/▶▶/|◀◀/❚❚/■/▶▶|（早戻し／再生／早送り／前／一時停止／停止／次）**

ご注意

- 状況に応じて使えるボタンは変わります。

ヒント

- ▶（再生）ボタン、AUDIO（音声切換）ボタン、数字ボタンの[5]、CH/PAGE（チャンネル／ページ）＋ボタンには凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

プロモード設定

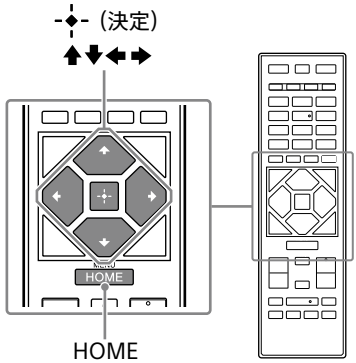
プロモードでは、プロフェッショナル用途としてお使いになる際に役立つさまざまな便利機能を利用できます。
ここではプロモードへの切り換え方法、プロモードの代表的な機能、設定方法を説明します。

モードの種類

通常モード：
デフォルトのモードです。プロモード機能はご利用いただけません。
プロ設定モード：
プロモード機能の各種設定をするモードです。
プロモード：
プロモード機能を利用できるプロフェッショナル向け運用モードです。

モードを切り換える

現在のモードが通常モードの場合



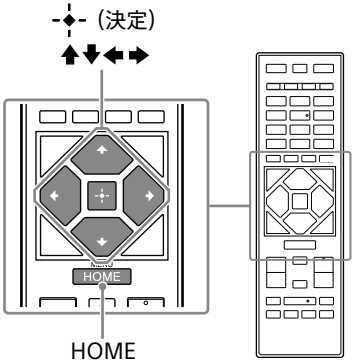
1 HOMEボタンを押す。

2 ↑↓←→ボタンで［アプリ］を選び、
(決定)ボタンを押す。

3 ［プロ設定］を選び、
(決定)ボタンを押す。

4 ［プロ設定モード］を選び、
(決定)ボタンを押す。

現在のモードがプロ設定モードの場合



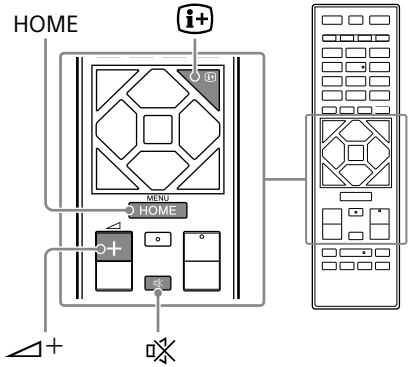
1 HOMEボタンを押す。

2 ⬆⬇⬅➡ボタンで[アプリ]を選び、
(決定)ボタンを押す。

3 [プロ設定]を選び、
(決定)ボタンを押す。

4 [プロモードを開始]を選び、
(決定)ボタンを押す。

現在のモードがプロモードの場合



1 アクティベーションキー ((画面表示) / (消音) / ⊿ +(音量+) /HOME)を、1秒間隔以内に順番に押す。

再起動の後、プロ設定モードに切り換わります。

ご注意

- 初期設定では、プロモード時に[プロ設定]からモードを切り換えることができません。
  [プロ設定]からモード切り換えをする場合は、プロ設定モードで[プロ設定]－[機能制限]－[アプリ]を順に選び、[プロ設定]を[使用する]に変更してください。

プロモード機能

プロモードにはさまざまな便利機能があります。ここでは代表的な機能を紹介します。

プロモード機能の設定方法

1 プロ設定モード時に、リモコンのHOMEボタンを押して✿(設定)－［プロ設定］から設定します*。

* 操作手順はOSのバージョンによって異なります。

電源起動時のモニター動作設定

電源プラグを抜き差ししたときの、モニターの起動設定ができます。

パソコン画面の最適化表示

パソコンのフォーマットに合わせた最適なサイズで表示します。

HDMI信号検出による電源制御と自動入力切換

HDMI入力が検出された際に、自動的にモニターの電源をオンにし、入力を切り換えます。

HOMEボタン使用時の表示メニュー設定

リモコンのHOMEボタンを押したときの表示メニューを選べます。

モニター起動時の初期入力ソース指定

モニターを起動したときの、初期の入力ソースを指定できます。

プロモードの保護

プロモード設定をPINによって保護します。

初期音量・最大音量設定

モニターの初期音量と最大音量を設定できます。

リモコンによる本体キー操作の制限

リモコンによるモニターの操作を制限できます。

外部入力の制限

外部入力の利用を制限できます。

アプリケーションの利用制限

モニターのアプリケーション利用を制限できます。

ご注意

- ソフトウェアバージョンによって機能が変更になることがあります。詳しくは下記のWebページをご覧ください。
  https://www.sony.jp/bravia-biz/support/

ネットワークにつなぐ

モニターをインターネットに接続するためには、あらかじめインターネットを使用できる環境が必要です。
詳しくは、ネットワークの施工業者や管理者にお問い合わせください。

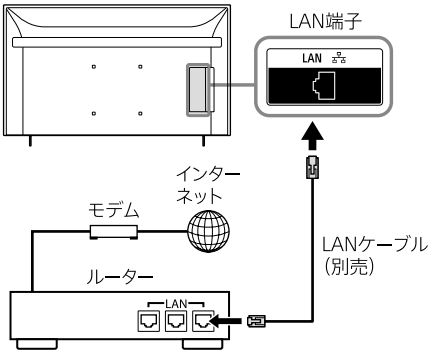
インターネットに接続する方法として、有線接続と無線接続があります。

有線接続する

1 必要なもの（別売）を準備する。

- ルーター（1台）
- カテゴリー 5（CAT5）以上のLANケーブル（1本）

2 LANケーブル（別売）を、モニターのLAN端子とルーターのLAN端子につなぐ。

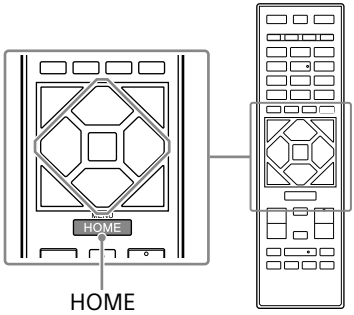


自動的にインターネットへの接続が完了します。

ご注意

- 本機をインターネットに接続してご使用の際は、ルーターを介した接続、またはルーター機能を有したLANポートへの接続をしてください。

無線接続する（Wi-Fi）

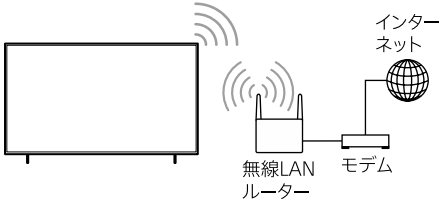


1 必要なもの（別売）を準備する。

- 無線LANルーター（1台）

ヒント

- 無線LANルーターのSSIDとセキュリティーキーを控えておいてください。
- セキュリティーキーの名称はメーカーによって異なります（「暗号化キー」、「暗号キー」、「KEY」、「ネットワークキー」、「パスワード」など）。



2 HOMEボタンを押す。

3 メニュー上部に、インターネットにアクセスできていないことを知らせるメッセージが表示されるので［詳細］を選ぶ。

ヒント

- メッセージが表示されない場合は、ネットワークへの接続は完了しています。

次ページへつづく

4 Wi-Fiをオンにしてから、画面に従って接続を設定する。

ヒント

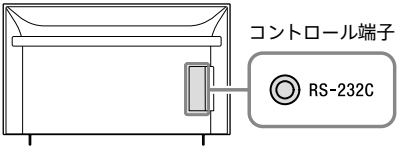
- 無線LANルーターの設定を変更できる場合は、802.11nまたは802.11acに設定してください。インターネットで動画をスムーズに再生できます。設定のしかたは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧いただくか、ネットワークを設定した人（ネットワーク管理者）にお問い合わせください。

ネットワークに接続できないときや設定を変更したいときは

「問題と対処」の「インターネット」（20 ページ）または、「困ったときは」（17 ページ）をご覧ください。

RS-232C

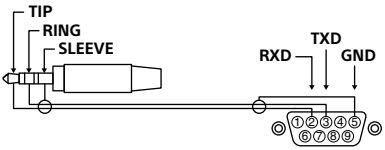
本機は、RS-232C経由で外部サービスと接続しコントロールすることができます。
ここではRS-232C接続について説明します。



インターフェース

3.5 mmステレオミニプラグ(別売)を用いて、RS-232C接続を行います。

3.5 mmステレオミニプラグについて



TIP：モニター → コントローラー
RING：コントローラー → モニター
SLEEVE：GND

接続設定

RS-232C接続を行う際は、下記のように接続設定を行ってください。

ボー・レート	9600 bps
データ	8 bit
パリティ	None
スタートビット	1 bit
ストップビット	1 bit
フロー制御	None

データフォーマット

RS-232C通信を行う際のデータフォーマットです。

コントローラーからモニターへのリクエスト

No.	Item	Value
1	Header	0x8C: Control
2	Category	0x00 (fixed)
3	Function	0x00
4	Length	0xXX (=Data X+1 byte)
5	Data 1	0xXX
:	:	0xXX
:	:	0xXX
X+4	Data X	0xXX
X+5	Check Sum	0xXX

モニターからコントローラーへのレスポンス

No.	Item	Value
1	Header	0x70: Answer
2	Answer	0x00: Completed (Normal End)
		0x01: Limit Over (Abnormal End-Exceed maximum value)
		0x02: Limit Over (Abnormal End-Exceed minimum value)
		0x03: Command Canceled (Abnormal end)
		0x04: Parse Error (Data Format Error)
3	Check Sum	0xXX

コマンド例

RS-232C通信のコマンド例です。

Control	Head	Category	Function	Length	Data 1	Data X	Checksum
電源の オン／オフ	0x8C	0x00	0x00	0x02	0x00 (off)	-	0x8E
					0x01 (on)	-	0x8F
HDMI入力 選択	0x8C	0x00	0x02	0x03	0x04(HDMI)	0x01 (#1)	0x96
						0x02 (#2)	0x97
						0x03 (#3)	0x98
						0x04 (#4)	0x99

RS-232Cについて詳しくは、下記のWebページをご覧ください。
https://www.sony.jp/bravia-biz/support/

故障かな？と思ったら

モニターをご使用中にトラブルが発生したり、調べたいことがある場合は、ブラビア法人サポートデスクにご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示される場合は、書き留めておくことをおすすめします。

1 モニター本体をリセット（再起動）する

① リモコンの電源ボタンを5秒以上押し続け、［再起動］を選ぶ。
② 自動で電源が入るまで1分程度待つ。
それでも解決しないときは、モニターの電源プラグを抜き、モニター本体の電源ボタンを1回押してください。
その後、2分間待ってからモニター本体の電源を入れてください。
または、モニター本体の電源ボタンを電源が切れるまで押し続けてください（40秒以上）。

2 本書やヘルプで調べる

本書の「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べます。見つからないときは、HELPボタンを押して、該当する項目を調べます。

3 サポートページで調べる

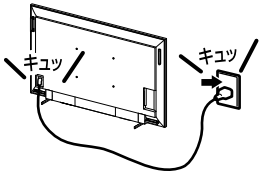
ブラビア サポートページ
https://www.sony.jp/bravia-biz/support/
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を調べます。

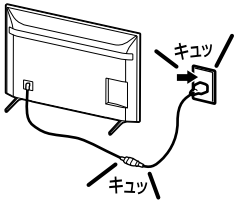
4 それでも解決しないときは

ブラビア法人サポートデスク
（21 ページ）へご相談ください。

まず確認してください

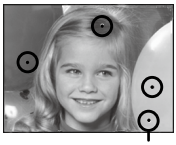
電源コードがゆるんでいませんか？
しっかりつないでください。





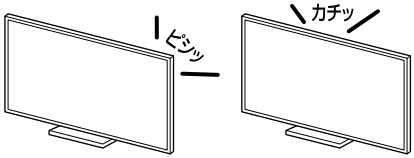
こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。
液晶モニターの映像は、微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。


輝点・滅点

「ピシッ」というきしみ音が出る。
電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがあります。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。
電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。また、電源スタンバイ時は、データ受信のためにモニターの電源が自動的に入り、音がすることがあります。モニター前面のランプ（LED）が点滅しますが故障ではありません。



電源が入らなくなった／画面や音が出なくなった／リモコンや機能が使えなくなった。
何らかの原因により、モニターが一時的に誤動作を起こしている可能性があります。リモコンの電源ボタンを5秒以上押し続け、［再起動］を選択して電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、モニターの電源プラグを抜き、モニター本体の電源ボタンを1回押してください。その後、2分間待ってから電源プラグを再度つなぎ、モニター本体の電源ボタンで電源を入れてください。または、モニター本体の電源ボタンを電源が切れるまで押し続けてください（40秒以上）。

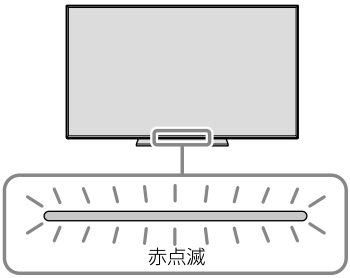
- システムの初期化に時間がかかるため、しばらくの間モニター本体の電源ボタン、リモコンで電源操作ができないことがあります。その場合1分程度待ってから操作してください。

問題と対処

画面／画像／ランプ（LED）

画面や音が出ない／リモコンや機能が使えない／ランプ（LED）が赤色に点滅する。

- 画面が消え、モニター前面のランプ（LED）が赤色に点滅するときは、モニターの自己診断機能により、モニターに何らかの異常が起きていることが見つかった可能性があります。モニターの電源プラグを抜き、約2分後に再度つないでから、モニター本体の電源ボタンで電源を入れてください。ランプ（LED）の点滅が続く場合は、点滅回数をご確認のうえ、ブラビア法人サポートデスク（21 ページ）にお問い合わせください。
  点滅はおおよそ3秒おきに繰り返します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅... この場合の点滅回数は2回です。



画面が暗い。

- 画面の明るさは、画質設定によって異なります。画面を明るい設定にするには、OPTIONSボタンを押して、[設定]－[画面と音声]－[画質]を選び、[画質モード]を[ダイナミック]に設定してください。

音声

画像は出るが、音が出ない。

- 音量が下がりきっていないか確認してください。
- リモコンの消音ボタンまたは音量＋ボタンを押してください。
- HOMEボタンを押して、⚙（設定）－[画面と音声]－[音声出力]－[スピーカー出力]を[本体スピーカー]に設定してください。

接続機器

つないだ機器の画像が表示されない。

- つないだ機器の電源が入っているか確認してください。
- 接続ケーブルの端子部分がしっかりと接続端子に差し込まれているか確認してください。
- リモコンの⊖（入力切換）ボタンを押して、つないだ機器の入力を選んでいるか確認してください。

リモコン

リモコンでモニターを操作できない。

- 電池切れの可能性があります。リモコンの電池を交換してください。電池は＋／－を正しい向きに合わせて、－極側から入れてください。
- モニター以外の接続機器が操作されてしまう場合は、ブラビアリンク対応機器の操作をする設定になっている可能性があります。HOMEボタンを押し、モニターを操作してください。
- リモコンの代わりにモニター本体の電源ボタンで操作してください（5 ページ）。

操作したくないモニターも一緒に動いてしまう。

- モニターの向きを変えたり、リモコンを操作する向きや場所を変えて改善されるかご確認ください。

インターネット

インターネットに接続できない。

- LANケーブルやネットワーク機器の電源コードが外れていないか確認してください。
- 本機と無線LANルーターの設置場所を確認してください。電波状況の影響を受けている可能性があります。
  - 他の無線機器や電子レンジ、蛍光灯から離してください。
  - 無線LANルーターと本機の間に床や壁がない状態にしてください。
  - 無線LANルーターを再起動して改善するかお試しください。
  - 前述の対処を行っても正常に動作しない場合は有線LAN接続をおすすめします。
- リモコンのHELPボタンを押し、［ネットワーク接続診断］を選び、無線の電波強度など、ネットワークの接続状態を確認してください。

その他

本機の周辺が熱い。

- 長時間使用したときなどに、本機の正面や背面、上部、底部が熱くなり、手で触れると熱く感じることもありますが異常ではありません。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は、保証書が添付されています（裏表紙）。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはブラビア法人サポートデスクへ
本ページに記載されているブラビア法人サポートデスクへお問い合わせください。

保証期間中の修理は
- 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器（"メモリースティック"、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど）に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ブラビア法人サポートデスクのご案内

本製品についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、ホームページまたはブラビア法人サポートデスクへ。

ブラビア法人サポートデスクへお問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
–型名
–ご相談内容：できるだけ詳しく
–お買い上げ年月日

ご質問の内容によっては、本機に接続される機器についてお問い合わせさせていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

本機の型名、シリアルナンバーおよび定格は、本機背面に記載されています。

型名：	FW-98BZ53L	FW-98BZ50L	FW-85BZ40L
	FW-85BZ30L	FW-75BZ40L	FW-75BZ30L
	FW-65BZ40L	FW-65BZ35L	FW-65BZ30L
	FW-55BZ40L	FW-55BZ35L	FW-55BZ30L
	FW-50BZ30L	FW-43BZ30L	

This LCD Monitor is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

https://www.sony.jp/support/

ソニー 株式会社
〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

安全のために

⚠危険

火災　感電

下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**などにより**死亡**や**大けが**などの人身事故が生じます。

次のことを守って、本機を設置する

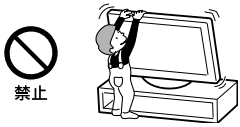
モニターが落下して、重大な人体傷害または死亡の要因になるおそれがあります。多くの傷害、特に子どもに対するものは、次のような簡単な予防措置をとることによって、避けることができます。

- 常に、ソニーが推奨したキャビネット、またはスタンド、または取付手段を使用する。
- モニターを安全に支持することができる家具だけを必ず使用する。
- 支持している家具の端から、モニターが突き出ないことを確実にする。
- モニターまたはその制御部に到達するために家具によじ登ることの危険性を子どもに必ず教育する。
- モニターに接続するコードやケーブルを引掛けてつまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように必ず配置する。
- 決して、不安定な場所にモニターを置かない。
- 家具およびモニターの両方を適切な支持体にしっかりと固定することなく、背の高い家具（例えば、食器棚や書棚）の上に機器を決して置かない。
- モニターと支持している家具との間に、布または他の材料を置いてモニターを決して置かない。
- モニターの上やモニターの置かれている家具の上に、子どもがよじ登りたくなるようなもの（玩具やリモコンなど）を決して置かない。

既存のモニターを使い続けるまたは再配置する場合にも、上記と同じ事項を適用することを推奨します。

転倒防止の処置を必ず行う

転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などと本機の間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。（転倒防止の処置については32 ページをご覧ください。）

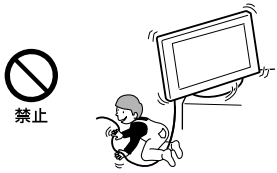


人が通行するような場所に置かない

コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

乳幼児がコードを引っ張る恐れのない場所に電源コードや信号ケーブルを配置してください。



不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

モニターが落下し、大けがまたは死亡の原因となる可能性があります。

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

モニター以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。

壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

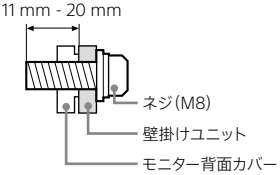
- 専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともモニターの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。（モニターの質量は、35 ページをご覧ください。）
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。

次のことを守って、壁掛けユニットに本機を設置する

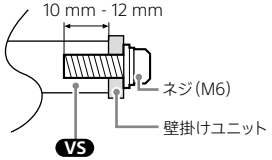
誤った取り付け方法で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 壁掛けユニットの取り付けに際しては、モニターや壁掛けユニットに合ったネジを使う。 壁掛けユニットによってネジの長さは異なりますので、取付金具の取り付け面からの長さは下図をご覧ください。適合しないネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因になります。

FW-98BZ53L/98BZ50L



FW-98BZ53L/98BZ50L以外



医療機器としての使用はできません

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

禁止

医療機器に近づけない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

子どもや監督を必要とする方などの手の届くところに置かない

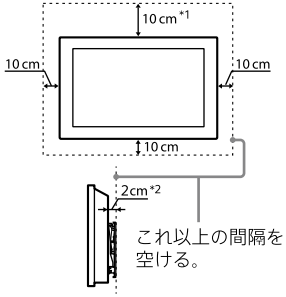
本製品(付属品を含む)は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こす恐れがあります。磁石を飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

下記の注意を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けがの**原因となります。

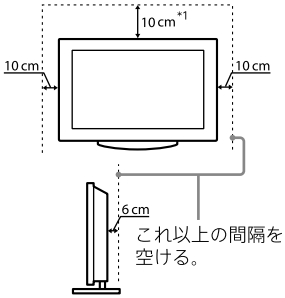
周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。
本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。
風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

壁に取り付けるとき



スタンドを使用するとき

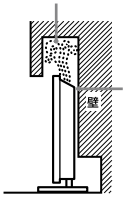


*1 FW-50BZ30L/43BZ30Lのみ、38 ℃以下でご利用いただくか、30 cm以上空けてください。
*2 壁掛けユニットSU-WL900/WL850を使用する場合は1 cm。

下図のような設置はおやめください。

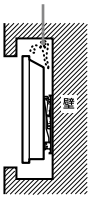
禁止

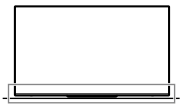
空気が抜けなくなります。



背面の通風孔がふさがれ熱が内部にこもります。

空気が抜けなくなります。





底面の通風孔を布などでふさがないでください。

通風孔をふさがない

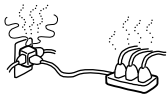
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。
- 壁や家具に密着して置かない。また毛足の長いじゅうたんや布団などの上に置かない。
- 本機の下に物を置かない。

電源(コード、プラグ)

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V (50/60 Hz)以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

電源プラグは定期的にお手入れを

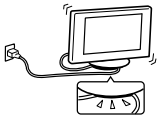
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはブラビア法人サポートデスクに交換をご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナケーブルや電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

使用

内部に水や異物を入れない本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

液晶画面や本機の背面など機器全体に直接水や洗剤をかけない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはブラビア法人サポートデスクにご依頼ください。

禁止

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはブラビア法人サポートデスクにご依頼ください。

分解禁止

リモコン及び電池の取り扱いについて

- 直射日光が当たるところ、火や暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。
- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因となることがあります。

接触禁止

目や口に液晶を入れない／ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。
また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

接触禁止

移動、設置

正しい方法で運搬／移動する

- 誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
  本機を持ち運ぶ際には、取扱説明書をご参照の上、正しい方法で行ってください。
- 本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

人がぶつかりやすい場所に置かない

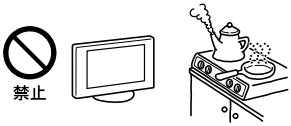
水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより本機が故障したりします。

風呂・シャワー室での使用禁止

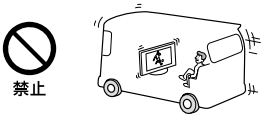
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

湿気、ほこりの多いところ、油煙や湿気が当たるようなところ（調理台や加湿器のそば）におかないでください。火災・感電・変形などの原因となることがあります。



乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。
塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

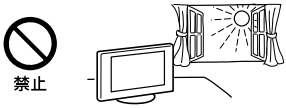


可動式の台に設置しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

屋外や窓際で使用しない

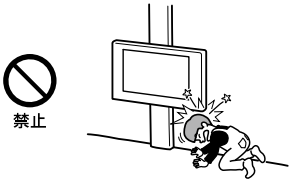
雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。



壁掛け設置

モニターがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのモニターがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。



モニターを取り付けたあとはネジなどをはずさない

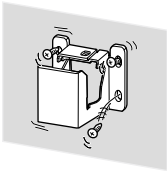
モニターが落ちて、けがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはモニターを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ（必要本数以上）で、しっかりと固定してください。



取扱説明書の説明に従って、付属のネジと取り付け金具を使う

付属品を使わずに代替品を使用して取り付けると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因になります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

モニターが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にモニターに衝撃を与えない

モニターが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にモニターを取り付ける

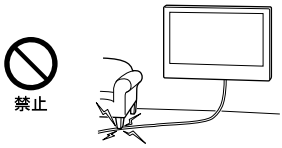
垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、モニターが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、モニターを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



壁の材質や構造に適したネジを使う

壁掛けユニットを壁面に固定するネジを付属していません。壁の材質や構造に適したネジをご準備ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない

付属品の小さな部品を飲み込むおそれがあります。
乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

禁止

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

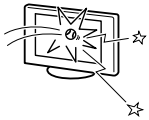
本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。
本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。
コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

プラグをコンセントから抜く

液晶画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

禁止



液晶画面の外周に衝撃を与えない

ガラスの縁にヒビが入ったり、飛び散ったガラスにより、ケガの原因となります。

音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。
ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。
また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、モニターの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。モニターの落下によるけがや破損の原因となります。

リモコンによる遠隔操作について

無線リモコン、またはVideo & TV SideViewなどのアプリを搭載したスマートフォン／タブレットのリモコン機能による遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行ってください。

オプション機器について

本機は3メートル未満の信号ケーブルを使用した場合にEMC規格の制限に準拠していることがテストにより確認されています。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険

- 電池を直射日光、火のそばなどの高温になる場所や、極端に低い気圧になる場所に置かないでください。
  爆発、液漏れ、ガス漏れする可能性があります。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 指定された種類の電池以外使用しない。
  誤った型式の電池を使用すると、爆発する可能性があります。

⚠注意

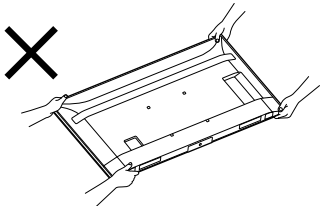
- 指定された種類の電池を使用する。
- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。
万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

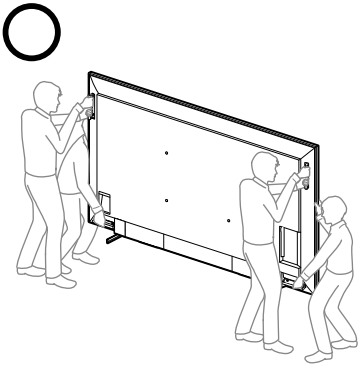
使用上のご注意／お手入れ

運搬／設置について

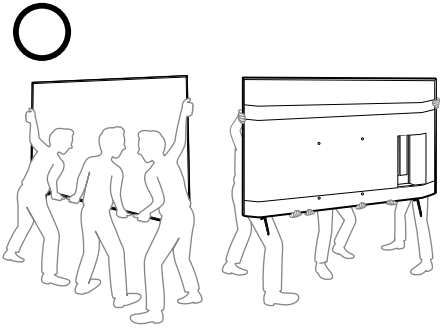
- 大型モニターは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上（FW-98BZ53L/98BZ50Lは4人以上、FW-85BZ40L/85BZ30Lは3人以上）で行ってください。
  モニターの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。



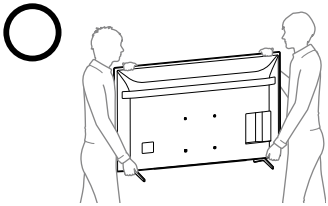
❑ FW-98BZ53L/98BZ50L



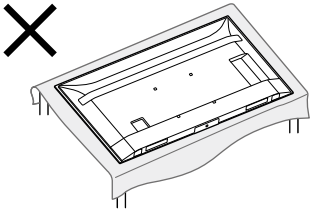
❑ FW-85BZ40L/85BZ30L



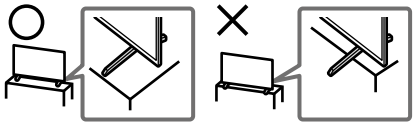
❑ FW-98BZ53L/98BZ50L/85BZ40L/85BZ30L以外



- 運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
  特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
- スタンドや壁掛けユニットの取り付け作業時に、モニター画面を下に向けて置かないでください（FW-50BZ30L/43BZ30L以外）。



- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときや、湿気の多い場所や暖房を入れたばかりの部屋などでは、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。
  結露が起きたときは、本機の電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。
- モニター台からはみ出さないように設置してください。スタンド設置時には、お子さまが近づかないようにご注意ください。



- 壁掛けユニットにモニターを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、モニターの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 壁に取り付ける場合、機械的振動の多い場所には設置しないでください。

液晶画面について

- 画面を太陽に向けたままにしないでください。画面を傷める原因になります。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。
- 長時間使用したあとに液晶画面の外周を触ると、熱く感じることがあります。
- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。
  液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

電源コードが同梱されている機種について

同梱されている電源コードはその機種専用のものです。
他の機器では使用しないでください。

ネットワークへの接続について

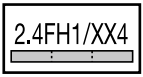
- この機器は、電気通信回線設備に直接接続することができません。この機器をインターネットに接続する場合は、必ず電気通信事業法の認定を受けたルーター等を経由してください。
- 本機をネットワークにつなぐ際は、セキュリティ強化のため、ルーターもしくはルーター機能を有したLANポートへつないでください。セキュリティの問題が発生すると、モニターがインターネットを通じてマルウェア（悪意のあるソフトウェア）などによる被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんされてしまうことがあります。また、お使いの機器が意図せずに各種ネットワークサービスに損害を与える可能性があります。

無線の周波数について

本機の使用上の注意事項
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、21 ページに記載のブラビア法人サポートデスクにお問い合わせいただき、混信回避のための処理など（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、21 ページに記載のブラビア法人サポートデスクにお問い合わせください。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40 mです。



この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。
変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

電波法に基づく認証について
本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

メモリーに保存されるデータについて

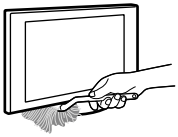
- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたってメールなどが記録されます。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
  データを消去するにはHOMEボタンを押して、⚙(設定)－[システム]－[デバイス情報]－[リセット]－[出荷状態に戻す]－[すべて消去]を選びます。
  ネットワークサービスをご利用の場合はログアウト処理も行ってください。
  消去によりアカウントやパスワードなどが消えてしまうサービスもあります。
  消去前に記録しておいてください。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

お手入れ

誤ったお手入れをした場合、モニターを傷つけたり、故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。

- 本機に直接水や洗剤をかけないでください。吹きかけた水や洗剤が画面下部や外装部にたれて本機が故障する場合があります。
- 画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 画面の汚れについては、マイクロファイバークロスを使用してふいてください。

- 画面以外について、軽い汚れのときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
  汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに浸した布を固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。
- モニターの下は柄つきのモップなどを使用してください。
  狭いので手を入れて掃除しないでください。



- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。
- 印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧にふいてください。爪などでひっかくと、印刷面が傷つくことがあります。

以下のことは行なわない

- 殺虫剤やシンナー、ベンジンのような揮発性のもの、クレンザーのような研磨剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。
- 画面の汚れをふき取るときは、スピーカー部を持ったり、画面に圧力をかけたりしないでください。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。
- ハンドクリーム、日焼け止めクリームなどが手に付いた状態で本機に触らないでください。変色、変形の原因になります。

再設置／モニターを壁に取り付けて使う

再設置するには

再設置のしかたは、組み立て／設置ガイド（別紙）をご覧ください。
組み立て／設置ガイドはWebサイトからダウンロードすることもできます。

モニターを壁に取り付けて使うには

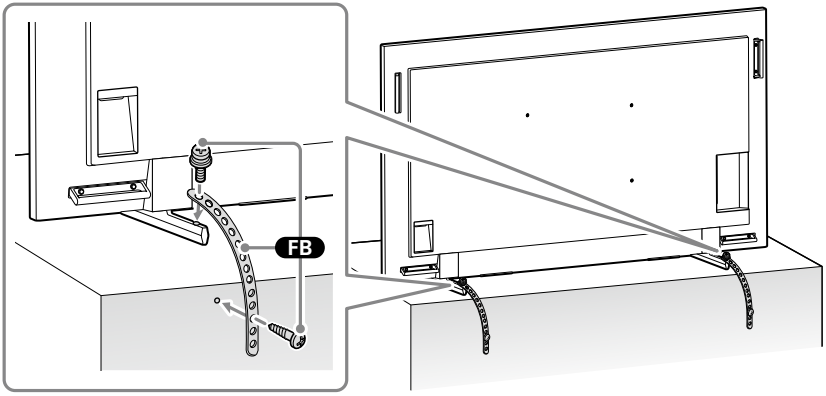
モニターの機種によって、お使いいただける別売の壁掛けユニットの型名が異なります。
壁に取り付ける場合は、必ず専門業者に取り付けを依頼してください。
また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。
専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、モニターが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

壁掛けユニットを取り付けるには、モニターに取り付けたスタンドをはずし、壁の取り付け位置の確認をしたり、モニターに必要な部品を取り付ける必要があります。
詳しくは、壁掛けユニット取付方法をご覧ください。

転倒防止用ベルトを取り付ける

FW-98BZ50L

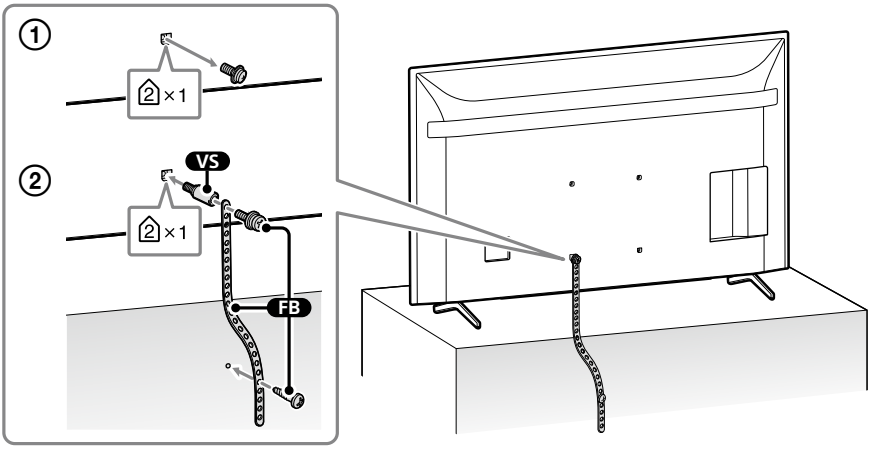
転倒防止用ベルトを両方のスタンドに取り付ける。



FW-98BZ53L/98BZ50L以外

モニター背面のネジをはずし、転倒防止用ベルトを取り付ける。

- 転倒防止用ベルトは左右どちらのネジ穴にも取り付けられます。



ヒント

- 付属の木ネジが使えない場合や、強度が不充分な場合は、お買い上げ店や工事店にご相談のうえ、市販のネジ（直径4 mm）をお使いください。

主な仕様

システム

パネルシステム
LCDパネル、LEDバックライト

使用スピーカー
フルレンジ(2)、ツイーター（2)(FW-98BZ53L/98BZ50L)
フルレンジ(2)(FW-98BZ53L/98BZ50L以外)

音声出力(実用最大出力)
10 W+10 W+10 W+10 W（FW-98BZ53L/98BZ50L)
10 W+10 W（FW-98BZ53L/98BZ50L以外)

無線技術
プロトコル IEEE802.11ac/a/b/g/n
Bluetooth® Version 4.2

入出力端子

ビデオ入力端子
映像・音声：4極ミニジャック

HDMI 1 ～ 4入力端子(4K対応、HDCP 2.3対応)
映像：
FW-98BZ53L/98BZ50L
480p、720p（24、30、60 Hz)、
1080i（60 Hz)、1080p（24、30、60、120Hz)、
3840×2160p（120 Hz）*1 *3、
3840×2160p（60 Hz）*1、
3840×2160p（24、30 Hz)、
4096×2160p（60 Hz）*1*2 、
4096×2160p（24 Hz）*2 、PCフォーマット

FW-98BZ53L/98BZ50L以外
480p、720p（24、30、60 Hz)、
1080i (60 Hz)、1080p（24、30、60 Hz)、
3840×2160p（60 Hz）*1、
3840×2160p（24、30 Hz)、
4096×2160p（60 Hz）*1*2、
4096×2160p（24 Hz）*2 、PCフォーマット

*1 画面に表示される説明に従って[HDMI信号フォーマット]を設定してください。
*2 4096×2160p入力で[ワイド切換]が[ノーマル]に設定されている場合は、3840×2160pで表示されます。 4096×2160pで表示するには、[ワイド切換]を[フル1]または[フル2]に設定してください。
*3 HDMI 3、4入力端子のみ。接続にはウルトラハイスピードHDMIケーブルを使ってください。

音声：
eARC（Enhanced Audio Return Channel)モードのとき
7.1チャンネル リニアPCM 32/44.1/48 kHz 16ビット、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、DTS、ドルビー TrueHD、DTS-HD MA、ドルビーアトモス、DTS:X MA、MPEG2 AAC（デジタル放送)、MPEG4 AAC（デジタル放送)
eARCモード以外のとき
5.1チャンネル リニアPCM 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz 16/20/24ビット、ドルビーオーディオ、ドルビーアトモス、DTS、MPEG2 AAC、MPEG4 AAC
Enhanced Audio Return Channel（eARC）/Audio Return Channel（ARC)対応(HDMI 3入力のみ)：
eARCモードのとき
7.1チャンネル リニアPCM 32/44.148 kHz 16ビット、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、DTS*4、ドルビー TrueHD、DTS-HD MA、ドルビーアトモス、DTS:X MA、MPEG2 AAC*4、MPEG4 AAC*4
ARCモードのとき
2チャンネル リニアPCM（48 kHz 16ビット)、ドルビーオーディオ、ドルビーアトモス、DTS*4、MPEG2 AAC*4、MPEG4 AAC*4

ヘッドホン端子
ステレオミニジャック

光デジタル音声出力端子
角型端子、2チャンネル リニアPCM（48 kHz 16ビット)、ドルビーオーディオ、DTS*4、MPEG2 AAC*4

HDMI4音声入力端子
ステレオミニジャック

*4 対応するオーディオシステムを本機につなぎ、[パススルーモード]を[オート]、[スピーカー出力]を[オーディオシステム]に設定してください。

LAN（10/100)端子
10BASE-T/100BASE-TXコネクター（ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)

USB端子
- USB 1（USB 2.0対応)
- USB 2（USB 3.2 Gen 1対応)

コントロール端子
RS-232C、ミニジャック

電源部、その他

動作温度
0 ℃ ～ 40 ℃

動作湿度
20% ～ 80%（結露なきこと）

消費電力
FW-98BZ53L：505 W
FW-98BZ50L：505 W
FW-85BZ40L：373 W
FW-75BZ40L：299 W
FW-65BZ40L：229 W
FW-55BZ40L：201 W
FW-65BZ35L：218 W
FW-55BZ35L：169 W
FW-85BZ30L：248 W
FW-75BZ30L：306 W
FW-65BZ30L：230 W
FW-55BZ30L：202 W
FW-50BZ30L：140 W
FW-43BZ30L：103 W

消費電力（リモコン待機時）
0.5 W（データ取得時、ネットワーク接続時を除く）

パネル解像度
3840×2160（画素：水平×垂直）

有効画面サイズ*5（幅・高さ・対角）
FW-98BZ53L：215.9・121.4・247.7 cm
FW-98BZ50L：215.9・121.4・247.7 cm
FW-85BZ40L：187.2・105.3・214.8 cm
FW-75BZ40L：165.0・92.8・189.3 cm
FW-65BZ40L：142.8・80.4・163.9 cm
FW-55BZ40L：121.0・68.0・138.8 cm
FW-65BZ35L：142.8・80.4・163.9 cm
FW-55BZ35L：121.0・68.0・138.8 cm
FW-85BZ30L：187.2・105.3・214.8 cm
FW-75BZ30L：165.0・92.8・189.3 cm
FW-65BZ30L：142.8・80.4・163.9 cm
FW-55BZ30L：121.0・68.0・138.8 cm
FW-50BZ30L：109.6・61.6・125.7 cm
FW-43BZ30L：94.1・52.9・108.0 cm

視野角（左右／上下）
178/178度（JEITA規格準拠コントラスト比10:1）

最大外形寸法*5
（最大突起部分を除く）（幅×高さ×奥行き）
FW-98BZ53L：
219.9×125.5×8.5 cm
FW-98BZ50L：
219.9×125.5×8.5 cm
219.9×130.5×46.5 cm（スタンド含む）
FW-85BZ40L：
189.9×108.9×7.1 cm
189.9×117.6×45.6 cm（スタンド含む）
FW-75BZ40L：
168.6×96.9×7.2 cm
168.6×104.5×41.0 cm（スタンド含む）
FW-65BZ40L：
146.2×84.2×7.1 cm
146.2×91.2×33.8 cm（スタンド含む）
FW-55BZ40L：
124.3×72.1×7.1 cm
124.3×78.7×33.8 cm（スタンド含む）
FW-65BZ35L：
146.2×84.2×7.1 cm
146.2×91.2×33.8 cm（スタンド含む）
FW-55BZ35L：
124.3×72.1×7.1 cm
124.3×78.7×33.8 cm（スタンド含む）
FW-85BZ30L：
189.9×108.9×7.1 cm
189.9×117.6×45.6 cm（スタンド含む）
FW-75BZ30L：
168.6×96.9×7.2 cm
168.6×104.5×41.0 cm（スタンド含む）
FW-65BZ30L：
146.2×84.2×7.1 cm
146.2×91.2×33.8 cm（スタンド含む）
FW-55BZ30L：
124.3×72.1×7.1 cm
124.3×78.7×33.8 cm（スタンド含む）
FW-50BZ30L：
112.6×65.3×7.0 cm
112.6×71.8×28.6 cm（スタンド含む）
FW-43BZ30L：
97.2×56.7×7.0 cm
97.2×63.2×28.6 cm（スタンド含む）

スタンド幅*5
FW-98BZ50L：153.6 cm
FW-85BZ40L：153.2 cm
FW-75BZ40L：133.0 cm
FW-65BZ40L：113.0 cm
FW-55BZ40L：98.3 cm
FW-65BZ35L：113.0 cm
FW-55BZ35L：98.3 cm
FW-85BZ30L：153.2 cm
FW-75BZ30L：133.0 cm
FW-65BZ30L：113.0 cm
FW-55BZ30L：98.3 cm
FW-50BZ30L：66.5 cm
FW-43BZ30L：66.5 cm

質量*5
FW-98BZ53L：
67.2 kg
FW-98BZ50L：
67.2 kg、68.9 kg（スタンド含む）
FW-85BZ40L：
44.5 kg、46 kg（スタンド含む）
FW-75BZ40L：
31.5 kg、32.7 kg（スタンド含む）
FW-65BZ40L：
21.4 kg、22.3 kg（スタンド含む）
FW-55BZ40L：
15.8 kg、16.7 kg（スタンド含む）
FW-65BZ35L：
21.2 kg、22.1 kg（スタンド含む）
FW-55BZ35L：
15.7 kg、16.6 kg（スタンド含む）
FW-85BZ30L：
44.5 kg、46 kg（スタンド含む）
FW-75BZ30L：
31.7 kg、32.9 kg（スタンド含む）
FW-65BZ30L：
21.2 kg、22.1 kg（スタンド含む）
FW-55BZ30L：
15.7 kg、16.6 kg（スタンド含む）
FW-50BZ30L：
12.3 kg、12.9 kg（スタンド含む）
FW-43BZ30L：
10 kg、10.5 kg（スタンド含む）

電源
AC 100 V、50/60 Hz

定格出力
USB 1
DC5 V、500 mA MAX
USB 2
DC5 V、900 mA MAX

*5 有効画面サイズおよび最大外形寸法とスタンド幅、質量は、おおよその値です。

別売アクセサリー

壁掛けユニット：
SU-WL900（FW-98BZ53L/98BZ50L/50BZ30L/43BZ30L以外）
SU-WL850（FW-98BZ53L/98BZ50L/85BZ40L/85BZ30L/50BZ30L/43BZ30L以外）
SU-WL450（FW-98BZ53L/98BZ50L以外）

- 本機は日本国内専用です。電源電圧の異なる海外ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20 A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

商標、ライセンス

- Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
非公開機密著作物。著作権 1992–2022 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Vewd® Core. Copyright 1995-2022 Vewd Software AS. All rights reserved.
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、およびWi-Fi Direct®は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™およびWi-Fi CERTIFIED 6™ロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴ は、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, Digital Surround, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- TUXERA is a registered trademark of Tuxera Inc. in the US and other countries.
- 本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com
- Google、YouTube、Android TV は Google LLC の商標です。
- Apple、Apple Home、AirPlay、HomeKitは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
AirPlayやApple HomeKitをテレビで使用するには、最新バージョンのiOS、iPadOSまたはmacOSを使用することをおすすめします。
- その他の商標はすべて、個々の所有者に帰属します。

Dolby VISION·ATMOS

HDMI® HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

vewd

Bluetooth®

dts®

TUXERA

HEVC Advance™

索引

別紙と記載されている用語については、組み立て／設置ガイド（別紙）をご覧ください。

あ行

アフターサービス.....21
インターネット.....13
運搬.....28
オプション.....9
音声切換.....9

か行

壁掛けユニット.....31
画面表示.....9

さ行

再設置.....31
字幕.....9

た行

電池.....別紙
転倒防止用ベルト.....32、別紙

な行

入力切換.....9
ネットワーク.....13

は行

ヘッドホン.....7
ヘルプ.....9
ホーム.....9
保証書.....21、裏表紙

ま行

無線LANルーター.....13、14、20
無線接続.....13
モデム.....13

や行

有線接続.....13

ら行

ランプ（LED）.....5、19
リモコン.....9、19、25、別紙
リモコン受光部.....5
ルーター.....13、別紙

アルファベット

ARC.....8
HOME.....9
LANケーブル.....8、13
RC232C.....15
SSID.....13
Wi-Fi.....13

保証書

出張修理

品名	液晶モニター
型名	FW-98BZ53L/98BZ50L/85BZ40L/85BZ30L/75BZ40L/75BZ30L/65BZ40L/65BZ35L/65BZ30L/55BZ40L/55BZ35L/55BZ30L/50BZ30L/43BZ30L
保証期間	詳細は次のURLをご参照ください。 https://www.sony.jp/support/r/tv/hosho/
お客様住所 お名前	電話　　－　　－ 様

Sample

保証書は製品に同梱されている取扱説明書に印刷されたものをご使用ください。

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、（1）お買上げのお店、（2）お近くのソニーサービスステーション、（3）本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	（1）（2）（3）	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	（1）（2）	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	（3）	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます。
※2（1）（2）へのご依頼が難しい場合は、（3）にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
（1）本書のご提示がない場合（2）本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合（3）保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合（4）使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷（5）他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷（6）お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷（7）火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障・損傷（8）消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、もしくは製品自体が記録媒体の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

修理メモ

＊本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
＊保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。

T09-1

© 2023 Sony Corporation